

事業評価シート

番号 0660070 - 001

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ協会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
実施期間	昭和22 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ基本法第34条	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市スポーツ協会は、市内各スポーツ競技団を統括する唯一の団体であり、体育・スポーツの普及・振興を図り、市民の体力向上とスポーツ精神を養うことを目的として設立された団体であるため、この運営を補助する。				
事業の内容	各種目競技市民スポーツ大会やスポーツ功労者等の表彰事業など、その運営にかかる人件費等の補助				
事業の対象	何を	運営補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ協会			
	どのくらい (具体的数値で)	事務局費及び事業費にて加盟42団体への支援として運営費、大会費等を4,428,969円支出。 (参考:令和元年度決算額16,801,143円提供(本事業補助率:31.0%、本事業補助額:5,200,000円、補助対象経費:5,240,538円))			
令和2年度 (実施内容)	市民スポーツ大会の開催 14競技種目(参考:R1 31競技種目) 市スポーツ協会表彰式 スポーツ功労者 8名、優秀指導者1名、最優秀選手 30名、優秀選手15名、最優秀チーム 4チーム、優秀チーム 4チーム				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,400	100	3,250	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		5,200	5,200	3,429
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	大会費	2,135	2,039	1,412
	事務局費	913	814	604
	運営費	760	760	950
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		5,200	5,200	3,429

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	8,370	8,600	6,679

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	8,370	8,600	6,679

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	種目協会及び協会登録者	種目協会及び協会登録者	種目協会及び協会登録者
受益者数	25,610	24,694	26,869
受益者負担額(千円)	190	190	190
受益者負担率(%)	2.3%	2.2%	2.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	327	348	249

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	協会登録者	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	40,000	40,000	40,000
実績値	25,610	24,694	26,869

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	市民スポーツ大会参加者	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	20,000	20,000	20,000
実績値	12,427	11,703	7,464
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	スポーツを通じて、競技力及び体力の向上に貢献し、健康増進のみならず、明るく豊かな生活を望む市民のニーズにかなっている。 岐阜市で行われるスポーツ競技を統括する唯一の団体であり、上部団体である地区、県、国各スポーツ協会との連携が可能である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	各競技団体の協会登録者は、競技委員、指導者及び選手と広範囲に効果が及んでいる。 市民スポーツ大会の参加者も大変多く効率的である。 (令和2年度は、新型コロナウイルス感染防止のため一部中止)
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	岐阜市スポーツ協会及び各競技団体の共催で各競技市民スポーツ大会を多数実施し、市民のスポーツ参加、競技力アップの動機づけとなっている。また、生涯を通じてスポーツに親しんでいくという「生涯スポーツの振興」は、市民の健康維持にも効果的な方策となっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	全競技団体へ、一律2万5千円の協会運営費を補助している。市民スポーツ大会を開催している競技団体に対しては市民大会開催補助を加算しており、適正である考える。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	岐阜市スポーツ協会の活動を通して、競技力アップ、生涯スポーツの普及、市民の健康維持に貢献しているため。

事業評価シート

番号 0660070 - 002

【1.基本情報】

事業名	市民総合スポーツ大会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市スポーツ協会	
実施期間	昭和22 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ基本法第23条	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ振興とスポーツに親しむことにより、体力の向上や健康の増進のみならず、明るく豊かな生活や生きがいを図る。				
事業の内容	体育の日(10月10日)を中心とする期間に各競技種目において、市民を対象とした総合スポーツ大会を岐阜市主催により開催する。				
事業の対象	何を	市民総合スポーツ大会			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	30競技			
令和2年度 (実施内容)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。 10月の体育の日を中心として、概ね前後1か月を目処に、市民が参加できる30競技の大会を開催予定であった。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	317	10	340	10	325	10
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	317	10	340	10	325	10

(2)物にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
直接経費 【直接事業費】 (B)	1,758	1,744	0	
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
項目	補助金	1,224	1,228	0
	消耗品	136	131	0
	会場使用料	154	145	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	1,758	1,744	0	

(3)総コスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
総事業費(E) =A+D	2,075	2,084	325

【4.収入】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	2,075	2,084	325

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	14,373	13,278	0
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	144	157	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	競技種目数	単位	種目
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	30	30	—
実績値	30	30	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	大会参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	20,000	20,000	—
実績値	14,373	13,278	—
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	実施競技種目数も多く、気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施している。 市民に広く競技スポーツを実施する民間団体はなく、市が担うが、大会運営に於いては、各競技団体のスキル及びノウハウが必要である。(運営役員・審判の手配、試合の組合せ等)
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	国、県もそれぞれ競技スポーツの大会を開催しているが、市民が気軽に参加できるわけではない。対して本大会は、参加者自身が競技レベルを測るのに効果がある。 岐阜市が岐阜市スポーツ協会に委託している。それぞれの大会運営は、岐阜市スポーツ協会に加盟する各競技団体が行っており、現行が最も効率的であると考えている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会を体育の日近辺で実施するよう、期間を限定しているの で、毎年、岐阜新聞と中日新聞にある程度まとめて掲載され、出 場者や保護者である市民の注目も高く、参加者のスポーツに対 するモチベーションアップに効果がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	大会役員の人数を根拠とし、また、会場費は8割と一定部分を 補助している。 経費が多くかかる種目は、個人負担するなど各競技協会に対応 している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状 維持	岐阜市内で各種目団体が実施している大会以外に、市民を対 象としたスポーツ大会は他になく、参加者の運動意欲、市民の スポーツに親しむ機会を維持するために大会形式のイベントは 必要と考えられる。

事業評価シート

番号 0660070 - 003

【1.基本情報】

事業名	岐阜県民スポーツ大会派遣補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
実施期間	昭和24 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜県民スポーツ大会は、広く県民のスポーツを振興し、その普及発達とアマチュアスポーツ精神を高揚して、競技力向上並びに県民の健康増進・体力の向上を図り、健康で明るい「生涯スポーツ社会」を築くことを目的としており、選手派遣に費用を補助する。				
事業の内容	地区予選及び夏秋季大会41競技、冬季大会2競技にわたり郡市対抗競技に選手を派遣する。				
事業の 対象	何を	派遣に要する経費の一部を			
	誰に (対象者・対 象者数)	岐阜市スポーツ協会を通じて参加者に			
	どのくらい (具体的 数値で)	補助金交付要綱に定める金額			
令和2年度 (実施内容)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 (参考:令和元年夏秋季大会は岐阜地区で開催し32競技298人、冬季大会は高山市・恵那市で開催し2競技23人、岐阜地区予選のみ251人の計572人の参加者に対し補助した。)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	951	30	1,020	30	975	30
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	951	30	1,020	30	975	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,744	937	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	交通費	1,186	150	0
	参加料	229	228	0
	昼食代	301	375	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,744	937	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,695	1,957	975

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,695	1,957	975

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	572	572	0
受益者負担額(千円)	196	175	0
受益者負担率(%)	7.3%	8.9%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,712	3,421	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	参加団体	単位	種目
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	37	37	—
実績値	34	34	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	大会参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	675	675	—
実績値	572	572	—
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	県内における各団体の競技力を測る大会である。 県民スポーツ大会は郡市対抗の大会であり、岐阜市が選手団を派遣するもので、民間では、実施できない。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	岐阜市選手団は、各団体を通じて選出し、効率的である。 市町村ごとの参加区分であり、広域連携できないものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	岐阜県民スポーツ大会に出場するため、各競技団体で選手選考の大会を開催するなど、単に参加するだけではなく、競技力向上の効果が得られるものである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	派遣補助金の交通費は市条例の半額支給とし、選手も受益者負担をしている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	岐阜県下、全市町村が出場する大会であり、本市のスポーツ振興のために必要な支援である。

事業評価シート

番号 0660070 - 004

【1.基本情報】

事業名	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会
実施期間	平成23 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	全国からランナーが集まるマラソン大会であり、競技力の向上及び市民のスポーツ振興に寄与することを目的として開催している	
事業の内容	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会(岐阜県・岐阜市・中日新聞社・岐阜陸上競技協会・岐阜県スポーツ協会)が主催し、ハーフマラソン及び3kmが行われ、約1万人のランナーが市内を走る大会である。	
事業の対象	何を	開催負担金
	誰に (対象者・対象者数)	高橋尚子杯ぎふ清流ハーフマラソン実行委員会、市民、参加者
	どのくらい (具体的数値で)	マラソン大会(ハーフマラソン、3km)、負担金6,000,000円
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1年延期	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	9,193	290	9,860	290	8,450	260
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	9,193	290	9,860	290	8,450	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		6,000	6,000	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	負担金	6,000	6,000	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		6,000	6,000	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	15,193	15,860	8,450

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	15,193	15,860	8,450

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	令和3年度に延期
受益者数	11,296	11,213	—
受益者負担額(千円)	83,374	81,084	—
受益者負担率(%)	548.8%	511.2%	
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,345	1,414	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10,000	10,000	—
実績値	11,296	11,213	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	会場来場者・沿道応援人数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	90,000	90,000	—
実績値	110,000	100,000	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	世界のトップランナーと約1万人の市民ランナーが走る大会である。また、沿道での応援も多く、市民のスポーツ振興に寄与している。 岐阜市で開催される大会で、市が運営する規模として適正であると考えている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	例年、募集人数を上回るエントリーがあり、約1万人の市民ランナーの競技力向上やスポーツ振興が図られているため、費用対効果は高い。 実行委員会(中日新聞、岐阜県、岐阜市、岐阜陸上競技協会、岐阜県スポーツ協会)の各団体がそれぞれ業務分担し必要な業務を行っていることに加え、沿道自治会や民間ボランティアも活用しており効率的な方法で実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年申込がすぐ定員に達するなど、参加者の満足度は高く、また、応援者、ボランティアの方々の満足度も高く有効性は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市の中心部での事業ということで市民は参加しやすく、また参加しない市民にも世界のトップランナーの走りを感じ取れる機会を提供しており、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	競技スポーツ、生涯スポーツの両方の観点を兼ね備えた岐阜市最大のスポーツイベントであり、スポーツ振興に大きく寄与しているため、現状維持。

事業評価シート

番号 0660070 - 005

【1.基本情報】

事業名	各種スポーツ大会派遣補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	岐阜市スポーツ協会
実施期間	昭和24 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	各種国際大会や全国大会に参加することにより、グローバルな市民育成、国際親善に寄与するとともに競技力向上をはかるため。				
事業の内容	国際大会や全国大会、その他の大会に出場する選手を支援するために、補助金を交付する。				
事業の対象	何を	派遣補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	<ul style="list-style-type: none"> 市内に在住、在勤、若しくは在学する者又は本市出身者で、国際大会に出場する選手。 市内に在住又は本市に所在する小中学校に在学する者で、全国大会に出場する選手。 			
	どのくらい (具体的 数値で)	①オリンピック等 国外50,000円 ②オリンピック等 国内25,000円 ③その他の国際大会 国外30,000円 ④その他の国際大会 国内15,000円 ⑤全国大会 宿泊あり15,000円 ⑥全国大会 宿泊なし 5,000円			
令和2年度 (実施内容)	上記の①から⑥の内訳は「①0人 ②0人 ③1人 ④0人 ⑤41人 ⑥16人であった。補助金の合計金額は825,000円であった。」				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	34	1	98	3
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	34	1	98	3

(2)物にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)	5,215	4,165	825
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目 補助金	5,215	4,165	825
減価償却費【施設管理】※(C)			
計(D)=B+C	5,215	4,165	825

(3)総コスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	5,247	4,199	923

【4.収入】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	5,247	4,199	923

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	337	267	58
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	15,569	15,727	15,905

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	大会件数	単位	種目
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	90	90	90
実績値	96	67	14

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	大会参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	300	300	300
実績値	424	337	58
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	一般的に高レベルの競技を行うためには、環境にある程度の費用をかけることが多い。そのため、競技にかかる費用の負担を軽減することは、高い水準で競技を続けるために必要不可欠なものである。また、国際大会、全国大会への出場は市内において一定レベルの競技行われていると考えられ、市内のスポーツ振興に寄与しているものと考えられる。 岐阜市の選手を補助するのは岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、民間には補助事業は難しいことから岐阜市が取り組むのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	国際大会や、全国大会等高い水準で開かれる大会に出場するトップアスリートを支援することは岐阜市のスポーツ振興、競技力向上に寄与している。 岐阜市の選手を補助するのは岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、民間には補助事業は難しいことから岐阜市が取り組むのが妥当である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	競技に多少の偏りはあるものの、令和2年度ではのべ58人の国際大会、全国大会出場者の負担を軽減することができている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	競技人口や規模により、大会数や出場資格が異なり、補助金をもらえる競技に差がでてしまう。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	力のある選手を補助し、スポーツの振興、競技力の向上に寄与しているため、必要な支援である。

事業評価シート

番号 0660070 - 006

【1.基本情報】

事業名	各種スポーツ大会開催事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	各主催団体
実施期間	昭和56 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会の円滑な運営を図るため				
事業の内容	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会が円滑に運営されるよう支援するために、大会を主催するものに補助金を交付する。				
事業の対象	何を	開催補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会を主催するもの			
	どのくらい (具体的 数値で)	当該事業に対して岐阜県が交付する補助金の2分の1の額を上限とする額。			
令和2年度 (実施内容)	全日本ジュニアビームライフル射撃競技大会(中止) パワーリフティングアジア大会(中止) 全国小学生バドミントン選手権(中止)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	95	3	204	6	195	6
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	95	3	204	6	195	6

(2)物にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
直接経費 【直接事業費】 (B)	250	650	0	
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
項目	補助金	250	650	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)	
計(D)=B+C	250	650	0	

(3)総コスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
総事業費(E) =A+D	345	854	195

【4.収入】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
市負担額一般 財源(E-F)	345	854	195

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	主催団体	主催団体	主催団体
受益者数	1	2	0
受益者負担額(千円)	527	6,072	0
受益者負担率(%)	152.7%	711.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	345,100	427,000	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	大会実施数	単位	団体
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	3	3	—
実績値	1	2	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	大会参加者	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	600	83,100	—
実績値	388	33,551	—
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	国際大会、全国大会その他のスポーツ大会が円滑に運営されるよう支援が必要。 県と同時に岐阜市も併せて支援することによって、国際大会、全国大会その他のスポーツ大会が本市で行われることが期待できる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜県が交付する補助金の2分の1の額を上限とする。 現行の方法(上段に記載の方法)が最も効率的と考える。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	全国から多くの選手、役員などが参加し、応援団を含む観客も全国から来岐され、宿泊及び観光などに於いて効果は得られたと思われる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜県スポーツイベント振興補助金交付要綱を基準としており公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	全国大会が岐阜市で開催されることで、技術の高い競技に触れることができる。 全国から集まった選手へ、岐阜観光コンベンション協会のパンフレットを配布するなど、岐阜市のPR、活性化に繋がっている。

事業評価シート

番号 0660070 - 007

【1.基本情報】

事業名	新春ぎふシティマラソン大会				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐阜市スポーツ大会	
実施期間	昭和25 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	昭和25年の越年マラソン大会に始まり、過去には高橋尚子さんが出場し優勝している歴史深い大会であり、市民が気軽に参加できるマラソン大会として継続すべき事業である。	
事業の内容	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門、車椅子マラソンの部、親子ジョギングの部を行う。	
事業の対象	何を	マラソン大会
	誰に (対象者・対象者数)	小学生以上の健康な市民(車椅子の方も可)
	どのくらい (具体的数値で)	年齢・性別などに分けて、マラソン6部門、車椅子マラソンの部、親子ジョギングの部を行う。
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症対策のため中止した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,585	50	1,700	50	1,625	50
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,700	50	1,625	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,585	1,585	1,355
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	役員報酬	331	345	0
	事業用品	299	271	0
	印刷製本	157	161	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,585	1,585	1,355

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	3,170	3,285	2,980

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	3,170	3,285	2,980

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	大会参加者	大会参加者	大会参加者
受益者数	757	744	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	4,188	4,415	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	申込人数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,250	1,250	—
実績値	923	897	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	申込人数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,000	1,000	—
実績値	757	744	—
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高める良い機会となっている。 市民を対象とした大会で、市が運営する規模として適正であると考える。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加費無料・適切なコース設定によって身近で誰もが気軽に参加できる大会となっている。 岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会や岐阜市スポーツ指導員連絡協議会、高校生補助員などの協力を得ながら実施しており、完全な民営化は難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	東京オリンピック・パラリンピックの開催や働き方改革により市民の健康意識が高まる中で、普段気軽に経験することができないシティマラソンを通じて、市民の健康づくりの一翼を担っている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	参加費が無料であるため、市民の誰もが気軽に参加できる大会として定着している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	歴史深く、市民に親しまれている大会であり、市民の健康意識を高める良い機会となっているため、現状維持により継続していく。

事業評価シート

番号 0660070 - 008

【1.基本情報】

事業名	中学校運動部活動強化事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体育成補助金	実施主体	各中学校
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	運動部が「夢」や「志」をもって部活動に取り組める環境の充実を図り、一人でも多くの選手がさらに上の大会を目指し羽ばたいていけることを目的としている。				
事業の内容	中学校運動部活動に対し、合宿・遠征等の強化を目的とした活動の際に必要な経費を補助する。				
事業の対象	何を	中学校運動部活動強化補助金			
	誰に (対象者・対象者数)	運動部が設置されている岐阜市立中学校及び特別支援学校中学部で設立された運動部活動強化プロジェクト委員会			
	どのくらい (具体的数値で)	補助対象経費の2分の1の額。ただし補助額の上限は200,000円			
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症対策による大会中止のため実績なし 参加校数0校 補助金の合計金額0円				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	95	3	102	3	98	3
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	95	3	102	3	98	3

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		848	1,026	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	補助金	848	1,026	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		848	1,026	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	943	1,128	98

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	943	1,128	98

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	運動部活動強化プロジェクト委員会	運動部活動強化プロジェクト委員会	運動部活動強化プロジェクト委員会
受益者数	9	9	0
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	104,789	125,333	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	本事業の案内		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	22	22	22
実績値	22	22	22

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	本事業を活用した学校数		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	12	9	—
実績値	9	9	—
達成状況	×(未達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	働き方改革により土日両日の部活動が行われなくなり、合宿などができなくなり本事業の補助金を申請する学校は減ったが、遠征や強化練習など継続して申請する学校もあった。 市内の市立中学校運動部活動を対象とした補助のため、岐阜市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	合宿や遠征でかかった費用の半額を負担することで中学校の負担が少なくなるので、合宿や遠征に行きやすくなる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	活用した中学校から全国大会に出場した選手がでるなど効果はあると考える。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内の市立中学校運動部活動に呼びかけ、機会を設けている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	合宿での申請は減ったが、遠征や強化練習などの申請は継続して申請する学校が多かった。 従って、事業は現状を維持しつつ継続していくことが望ましいと考える。

事業評価シート

番号 0660070 - 009

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ少年団本部運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいつくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ少年団本部
実施期間	昭和41 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ基本法第34条	

【2.事業概要】

事業の目的	各小学校単位にあるスポーツ少年団の統括団体である岐阜市スポーツ少年団本部運営を補助する。岐阜市スポーツ少年団本部はスポーツのもつ教育的な機能を活かし、スポーツ活動を通じた青少年の健全育成及び交流を目的として設立された団体であり、岐阜市の少年スポーツ活動の中核的役割を果たしている。				
事業の内容	リーダー研修会、市スポーツ少年団大会、スポーツ少年団表彰、スタートコーチ養成講習会等、各種本部事業及びその運営にかかる費用の補助				
事業の対象	何を	事業補助金の交付 事務局員業務			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ少年団本部			
	どのくらい (具体的 数値で)	事業補助金	1,375,000円	事務局員	260人 8,840,000円
令和2年度 (実施内容)	市スポーツ少年団事務(年間) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどの事業が中止となった。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	8,242	260	8,840	260	8,450	260
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	0
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	0
計(A)	8,242	260	8,840	260	8,450	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,375	1,375	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	補助金	1,375	1,375	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,375	1,375	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	9,617	10,215	8,450

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	9,617	10,215	8,450

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者	スポーツ少年団団員、指導者
受益者数	4,787	4,510	4,072
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	2,009	2,265	2,075

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	スポーツ少年団加入率	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	20	20	20
実績値	16.4	16.0	14.6

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	団員数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	4,100	4,000	4,000
実績値	3,451	3,271	2,988
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供しているスポーツ少年団の岐阜市本部である。 指導者、リーダーの研修、市大会等開催のため、必要である。国、県、地区に上部団体がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市内2,988名(令和2年度)の団員がスポーツ少年団活動を行い、団員の心と体を育む。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	市内各小学校等で小学生のスポーツ活動の場を提供し、また指導者、リーダー候補団員への研修、大会、表彰を行っており、有効性は高い。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内の小学生はすべて単位団に加入する権利をもっており、市内の単位団すべてに対しての指導者研修課、リーダー研修会、各種目大会、表彰を行っており公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	スポーツ少年団は子どもたちにスポーツの楽しさを伝えること、スポーツを通して心と体を育てること、スポーツを通じて人々をつなぎ、地域づくりに貢献することを理念として活動している。現代の世の中足りない重要なことを子どもたちに与えてくれるものであり、必要である。

事業評価シート

番号 0660070 - 010

【1.基本情報】

事業名	スポーツリーダー活用事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成25年度～	年度	根拠法令 関連計画※		

【2.事業概要】

事業の目的	スポーツリーダー等を学校行事やスポーツ教室等へ派遣し、直接話を聞いたり指導を受けたりすることのできる機会づくりを支援することを通して、子どもをはじめとする市民に夢や希望をもたせ、運動・スポーツを積極的に行おうとする意欲と実践的態度をはぐくみ、体力の維持・向上を図る。	
事業の内容	各団体へ国体で活躍したスポーツ選手や県体協スポーツリーダーバンクに登録している指導者等を派遣し、講話や実技指導の機会をもつ。	
事業の対象	何を	指導者への謝金
	誰に (対象者・対象者数)	市内小中学校、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、岐阜市体育館等
	どのくらい (具体的数値で)	1団体10回を上限とする
令和2年度 (実施内容)	20団体へ92名の講師を派遣した。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	95	3	544	16	520	16
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	95	3	544	16	520	16

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		768	894	552
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	報償費	768	894	552
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		768	894	552

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	863	1,438	1,072

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	863	1,438	1,072

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	派遣先団体の参加者数	派遣先団体の参加者数	派遣先団体の参加者数
受益者数	3,278	3,453	1,669
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	263	416	642

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	指導者派遣数		単位 人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	110	110	110
実績値	128	149	92

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者数		単位 人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			1,650
実績値			1,669
達成状況			○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	優秀な指導者から指導をしてもらえる機会をつくるという点が有益である。 岐阜市民に対する事業なので市で行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	各団体は無料で優秀な指導者から指導されるので費用対効果は高いと考える。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	FC岐阜と連携を図りサッカー教室などをしており、毎年多くの団体から申し込みが来ている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内の各団体(市内の全小・中学校、特別支援学校、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、岐阜市体育館等)に呼びかけ、機会を設けている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	令和2年度は新型コロナウイルス感染症により各団体の活動が縮小した中、一定数の利用があり、要望は多いと考えられる。また岐阜市で支援しているチーム(サッカー:FC岐阜、バスケ:GIFU SWOOPS、バレー:JAぎふリオーナ)との連携を図りながら教室を開講することも検討しているため現状維持。

事業評価シート

番号 0660070 - 013

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会
実施期間	昭和42 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	生涯スポーツ、地域スポーツの推進を目的に、コミュニティづくり及び多世代が集うスポーツの場を展開できるよう研究及び実施する	
事業の内容	協議会の事業費を補助する。 市内全50地域に2名のスポーツ推進委員を配置し、地域のスポーツ振興が充実・発展するよう企画や運営を行う。委員は研修会等に参加し、地域スポーツの研究も行う。また、市の事業にも協力していただく。	
事業の 対象	何を	事業費補助金
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ推進委員連絡協議会、(市民、参加者)
	どのくらい (具体的 数値で)	補助金: 450,000円 (全体研修会(3回/年)、生涯スポーツ大会の実施、全国・岐阜地区等の研修会への参加等)
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、理事会や会議を除くほとんどの事業が中止となった。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,536	80	2,720	80	2,600	80
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	2,536	80	2,720	80	2,600	80

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		450	450	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	補助金	450	450	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		450	450	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,986	3,170	2,600

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,986	3,170	2,600

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)	岐阜市スポーツ推進委員 岐阜市民(事業参加者)
受益者数	3,600	3,400	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	829	932	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	事業開催回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	15	15	—
実績値	19	18	—

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	3,000	3,000	—
実績値	3,600	3,400	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民が気軽に参加できる生涯スポーツ大会等を実施しており、参加者も3,000人を超えている。 岐阜市の非常勤公務員であるスポーツ推進委員の協議会であり、国・県・地区にも上部団体がある。
効率性 (①費用対効果 ②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	幅広い世代の市民が参加できる生涯スポーツ大会等の実施により、市民のスポーツ振興に寄与するものであるため、費用対効果は高い。 公益性のある事業を企画、実施する協議会の運営費を一部補助するものであり、民間活用等は難しい。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	様々な生涯スポーツ大会等を実施により、幅広い世代の市民が気軽に運動できる環境を提供することで、岐阜市のスポーツ振興に寄与している。また、研修会等の実施、参加により、スポーツ推進委員自身の資質向上に努め、市民に還元できている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	委員は、市内各自治会50地域から各2名ずつ選出され、各地域において体育振興会等と協力し、スポーツの推進を図っている。また、市のスポーツ事業運営への協力により、多くの市民へのサービス提供が行われているため、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	本市の生涯スポーツの推進に大きく寄与しているため、現状維持

事業評価シート

番号 0660070 - 014

【1.基本情報】

事業名	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会運営補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会
実施期間	昭和55 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市スポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等指導者の資質向上のため、岐阜市スポーツ指導員連絡協議会の運営を補助する。				
事業の内容	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会事務局事務、全体研修会(2回)実施、総会の実施、指導者の派遣依頼対応、市イベントへの協力				
事業の対象	何を	事業補助金 事務局事務			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会			
	どのくらい (具体的 数値で)	事業補助金 52,000円 事務局事務 50人 1,580,000円			
令和2年度 (実施内容)	岐阜市スポーツ指導員連絡協議会事務局事務 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から活動縮小				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,585	50	1,700	50	1,625	50
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,700	50	1,625	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		52	52	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	補助金	52	52	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		52	52	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,637	1,752	1,625

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	1,637	1,752	1,625

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者	スポーツ教室等受講者、イベント参加者
受益者数	7,000	7,000	0
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	234	250	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	研修会の実施		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	2	2	2
実績値	2	2	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	スポーツ教室等受講者、イベント参加者		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	7,000	7,000	—
実績値	7,000	7,000	—
達成状況	○(達成)	○(達成)	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	体育館スポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等指導者への研修会を実施しており、指導者としての資質向上のために必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市独自の事業であるため広域では出来ない。 また業務量、業務期間(業務量は少ないが年間を通して事務局事務がある)から見ると、委託よりは職員が行うことが効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	日本スポーツ協会等指導者資格を持っていないスポーツ教室等の指導者に向け、指導者としての資質向上のための研修会を実施しており、スポーツ教室等の質を向上させている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	研修会等を受ける指導者は市のスポーツ教室、ジュニアスポーツクラブ等の指導者が多く、またそれらの教室等は市民すべてに受講する資格があるため、公平である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市のスポーツ教室等の指導者の資質の維持、向上のため必要である。

事業評価シート

番号 0660070 - 015

【1.基本情報】

事業名	「FC岐阜」連携推進				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	(株)岐阜フットボールクラブ	
実施期間	平成21年度～	年度	根拠法令 関連計画※	スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	市民に夢と感動を与え、市民の一体感を醸成するプロスポーツチームの活動を、市民の文化として支え育むとともに、これを活かして市民スポーツの推進を図ります				
事業の内容	1、FC岐阜活用事業運営業務委託 ・ホームタウンデー市民交流推進事業、シティプロモーション事業 2、FC岐阜スポーツキャラバン運営業務委託事業 ・キャラバン教室、岐阜市スポーツ交流センター活用交流事業				
事業の対象	何を	FC岐阜を活かした市民スポーツ推進活動			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民			
	どのくらい (具体的数値で)	・ホームタウンデー市民招待:1回 ・スーパーシート:1試合 ・シティプロモーション:2回 ・体操教室:40回 ・巡回サッカー教室:70回 ・サッカー教室:2回 ・サッカー講座:5回 ・健康運動教室:15回 エクササイズ教室:15回			
令和2年度 (実施内容)	・ホームタウンデー市民招待:4回 ・スーパーシート:1試合 ・シティプロモーション:2回 ・体操教室:10回 ・巡回サッカー教室:55回 ・サッカー教室:2回 ・サッカー講座:0回 ・健康運動教室:10回 エクササイズ教室:10回				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	380	12	476	14	520	16
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	380	12	476	14	520	16

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		25,000	25,000	25,000
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	FC岐阜活用事業	18,700	18,000	21,400
	FC岐阜スポーツキャラバン	6,300	6,959	3,600
減価償却費【施設管理】※(C)				
計(D)=B+C		25,000	25,000	25,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	25,380	25,476	25,520

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	25,380	25,476	25,520

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	岐阜市民	岐阜市民	岐阜市民
受益者数	410,000	410,000	410,000
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	62	62	62

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	ホームゲームタウンデー岐阜市民参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	3,500	3,500	3,500
実績値	3,310	2,784	3,006

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	スーパーシートグループ招待応募組数	単位	組
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	500	500	500
実績値	360	391	228
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域スポーツ及びスポーツ文化の普及を図るために、市民がトップスポーツの試合観戦を行うことはスポーツに対する意識醸成に必要であり、FC岐阜を活用することは国内を代表するリーグであることからニーズに合っていると考える。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	市民には無料でホームゲームが観られることで、スポーツ推進活動を促進、家族の絆を深めることができるとともに、外食、公共交通機関の利用等の費用対効果が高いと考える。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	ホームタウンデーでは悪天候の中、多くの市民の方が来場されたり、スーパーシートやキャラバン教室など当選人数・施設を大幅に超える申し込みがあったりすることから、非常に効果があると考えられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	岐阜市に在住、在勤、在学する全ての方を対象とし、機会を与えている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	来場者数の実績から見ても、多くの方に需要があるので今後も継続していく。

事業評価シート

番号 0660070 - 016

【1.基本情報】

事業名	地域体育振興事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	各地域体育振興会等
実施期間	昭和40 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。	
事業の内容	各地域で行う事業(グラウンドゴルフ大会、市民運動会)のに対し補助金を交付する。	
事業の対象	何を	事業補助金
	誰に (対象者・対象者数)	市内50地域の体育振興会が行う市民の健康増進及び相互交流のための事業に対し補助を行う。
	どのくらい (具体的数値で)	各地域 34,500円～39,900円(世帯数による)
令和2年度 (実施内容)	市内16団体に事業補助金を交付(コロナの影響により交付団体数減少)	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	951	30	1,020	30	975	30
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	951	30	1,020	30	975	30

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,762	1,657	553
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	補助金	1,762	1,657	553
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,762	1,657	553

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,713	2,677	1,528

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,713	2,677	1,528

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市内各世帯	市内各世帯	市内各世帯
受益者数	165,443	165,443	165,443
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	16	16	9

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	補助金案内送付地域数	単位	地域
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	50	50	50
実績値	50	50	50

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	補助金交付地域数	単位	地域
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	50	50	50
実績値	47	44	16
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の健康増進及び相互交流のため必要である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市内各50地域の体育振興会が各地域に合った事業を自主的に行い、市がその資金の一部を補助しており効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	33地域の体育振興会から申請があり、各地域でスポーツイベントを実施した。(新型コロナウイルス感染症の影響により活動が自粛されたため、補助金は16地域に交付)
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	市内全50地域(全市民)を対象としており公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民の健康増進及び相互交流のため有効であるため、現状維持

事業評価シート

番号 0660070 - 017

【1.基本情報】

事業名	強化指定選手事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他補助金	実施主体	指定選手
実施期間	平成26年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	岐阜市が指定し補助金を給付した将来有望な強化選手を応援することにより、オリンピック・パラリンピック出場を目指すアスリートのスポーツに取り組む環境を整える。				
事業の内容	岐阜市出身、在住の選手で東京オリンピック・パラリンピック出場が見込める有望な選手に対して横断幕の掲出、市民栄光賞の授与を行う。				
事業の対象	何を	横断幕、市民栄光賞などの、応援備品など			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市出身、在住の選手で東京オリンピック・パラリンピック出場が見込める選手13名			
	どのくらい (具体的数値で)	オリンピック・パラリンピック出場者の応援横断幕掲出、および初出場者に対する市民栄光賞の授与			
令和2年度 (実施内容)	・伊藤晴英(シッティングバレーボール)・今井 月(競泳)・岡本碧優(スケートボード)・小澤 大(ラグビー)・木本宏幸(視覚障害者柔道)・笹岡 建介(スケートボード)・清水 綾乃(ライフル)・鈴木 健太(フェンシング)・辻 すみれ(フェンシング)・橋本 英也(自転車)・廣田 彩花(バドミントン)・福島 由紀(バドミントン)・松原 梨恵(新体操) 以上13名を指定。 当初は横断幕、岐阜市栄光賞の提供を行う予定であったが、オリンピック・パラリンピックが令和3年度に延期となったため、上記選手に補助金(一人あたり上限200,000円)を支出。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	32	1	1,020	30	975	30
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	32	1	1,020	30	975	30

(2)物にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)	2,847	3,496	2,274
直接事業費の主な内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目 補助金	2,847	3,496	2,274
減価償却費【施設管理】※(C)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C	2,847	3,496	2,274

(3)総コスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
総事業費(E) =A+D	2,879	4,516	3,249

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	2,879	4,516	3,249

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	指定選手	指定選手	指定選手
受益者数	10	12	13
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	287,870	376,333	249,923

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	指定人数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10	12	12
実績値	10	12	13

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	オリンピック出場者	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	0	0	0
実績値	0	0	0
達成状況	—	—	—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	オリンピックが近づき、スポーツへの関心が高まる中、岐阜市縁の選手の出場を補助することは、岐阜市全体の活力を生み出すことにつながる。 岐阜市縁の選手を補助する故に、市に縁のある者がすべきであるし、補助事業を民間で行うことは難しいと思われる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	高	予算に限りがあるため、1人あたり200,000円ではあるが、強化指定選手に指定されたという自負が選手にも生まれ、競技に対する意識の向上につながる。 競技ごと、選手ごとに競技力の向上に必要な備品、消耗品は異なり、対応するためには補助金の支給が一番効率的である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	平成28年に強化指定された選手8名のうち、4名がリオオリンピックに出場し、1名が金メダルを獲得するという結果を残し、岐阜市全体の活力高揚を感じることができた。この調子で東京オリンピック・パラリンピックでも多くの選手が出場、活躍し、市民の活力が向上することを見込んでいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	強化指定選手の選考には、岐阜市の各競技協会等とスポーツ有識者等による検討を重ねた上で決定され、公平性には問題はないと思われる。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	選手への補助は令和元年度で終了しており、横断幕の制作を行ったが、東京2020オリンピック・パラリンピックが令和3年度に延期となったため、市庁舎への横断幕掲出や市民栄光賞の授与のため事業の内容を変更し現状維持。

事業評価シート

番号 0660070 - 019

【1.基本情報】

事業名	市民スポーツ・レクリエーション活動推進事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	その他負担金	実施主体	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会
実施期間	平成25年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ推進計画	

【2.事業概要】

事業の目的	誰もが気軽に親しむことのできる軽スポーツの啓発・普及促進のための大会、イベントの実施	
事業の内容	春に「スポーツ・レクリエーション祭」(10種目)、秋に「やまなみジョギング・ウォーキング大会」を実施する。	
事業の対象	何を	開催負担金
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市スポーツ・レクリエーション祭実行委員会、市民、参加者
	どのくらい (具体的数値で)	開催負担金: 1,238,000円(予算額) (「スポーツ・レクリエーション祭」(10種目)、「やまなみジョギング・ウォーキング大会」)
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,585	50	1,700	50	1,625	50
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,585	50	1,700	50	1,625	50

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		1,100	1,317	198
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	負担金	1,100	1,317	198
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		1,100	1,317	198

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,685	3,017	1,823

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	2,685	3,017	1,823

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	事業参加者	事業参加者	事業参加者
受益者数	3,075	3,099	0
受益者負担額(千円)	805	695	0
受益者負担率(%)	30.0%	23.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	873	974	

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	負担金額		千円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			1,527
実績値			0

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者		人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値			2,200
実績値			0
達成状況			—

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	誰もが気軽に参加できる生涯スポーツの大会を実施している。 実行委員会(スポーツ推進委員、スポーツ指導員、各競技団体、岐阜市)で実施している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	幅広い世代への生涯スポーツ振興に寄与しているため、費用対効果は高い。 現在、各軽スポーツの種目協会の協力のもと、実行委員会の事務局を市が担い運営している。また、やまなみジョギング・ウォーキング大会では各種ボランティアも活用している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	3,000人を超える参加者があり、誰もが気軽に参加できるイベントである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	幅広い世代の市民が参加できるスポーツイベントである。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	多くの参加者があり、本市のスポーツ振興に寄与しているため、現状維持とする。

事業評価シート

番号 0660070 - 020

【1.基本情報】

事業名	総合型地域スポーツクラブ育成補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じた生きがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	その他	補助の種類※	その他	実施主体	各スポーツクラブ
実施期間	平成11年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市総合型地域スポーツクラブ21GIFU 補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	「総合型地域スポーツクラブ」を育成し、自立させることを通して、スポーツに親しむ機会を増やし、生涯スポーツの考え方の普及やスポーツ振興を図る。また、世代間交流を進め、地域コミュニティづくりを促進する。	
事業の内容	市内にある「総合型地域スポーツクラブ」の自立のために互いの連携を図り、効率的な組織の在り方や効果的なスポーツ教室の進め方について情報交流を進める。また、クラブ員の獲得に向けた導入事業や新規事業、凝集力を高めるイベントを工夫する。	
事業の対象	何を	総合型地域スポーツクラブ主催の多世代に向けた多様なプログラム(サークル・スポーツ教室等)
	誰に (対象者・対象者数)	各地域に住む多世代の市民
	どのくらい (具体的数値で)	各クラブで年間10以上のプログラムを提供する。
令和2年度 (実施内容)	クラブ訪問、スポーツクラブミニッツを含む7クラブ連絡協議会を開催	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	1,268	40	1,360	40	1,300	40
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	1,268	40	1,360	40	1,300	40

(2)物にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
直接経費【直接事業費】(B)			
直接事業費の主な内訳			
項目			
減価償却費【施設管理】※(C)			
計(D)=B+C	0	0	0

(3)総コスト

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
総事業費(E)=A+D	1,268	1,360	1,300

【4.収入】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
収入内訳			
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
市負担額一般財源(E-F)	1,268	1,360	1,300

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者			
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	連絡協議会の開催		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1	1	1
実績値	1	1	1

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	設立クラブ		単位
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	6	6	6
実績値	6	6	6
達成状況	○(達成)	○(達成)	○(達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	世代間交流ができ、地域コミュニティづくりを促進させる手立てとして、住民主体となるスポーツクラブの存在は重要であると考えられる。 クラブ育成に関して、県も補助事業や既存のスポーツ団体との連携・支援を進めている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現在新たに設立を計画している地域がないため、市からの補助金は出していない。 クラブの自主運営が目標であるため、地域の住民主体の組織が必要である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	積極的に6クラブの地域への貢献ぶりや運営上の課題などを把握し、地域の生涯スポーツの拠点としての役割が果たせるよう支援していく。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	クラブの主な財源は会員からの会費で成り立っており、提供しているサービスに満足してもらえるよう各クラブで工夫して教室やイベントなどを開催している。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	今後、総合型地域スポーツクラブに対する期待は大きく、6クラブが自主運営できるよう調査研究、及び支援を引き続き行っていく。

事業評価シート

番号 0660070 - 021

【1.基本情報】

事業名	学校体育施設開放事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	開放運営委員会	
実施期間	昭和50年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市立学校等の体育施設の開放に関する規則	

【2.事業概要】

事業の目的	地域住民が気軽にスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする。また、地域住民同士の交流の場として活用する事業であり、それに伴う事務手続きを円滑に行うための委託である。				
事業の内容	学校体育施設のスポーツ開放				
事業の対象	何を	学校体育施設開放			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的数値で)	学校等体育館、運動場、格技場			
令和2年度 (実施内容)	・市内小中学校等体育施設(運動場69校、体育館70校、格技場12校)の夜間開放業務委託 ・県立学校体育施設3校の夜間開放運営業務				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	8,242	260	8,840	260	8,450	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	8,242	260	8,840	260	8,450	260

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		67,408	66,282	65,357
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	謝金	40,187	41,186	41,186
	電気料	20,239	21,099	20,768
	照明灯修繕費	2,103	3,000	3,000
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度額(千円)
計(D)=B+C		67,408	66,282	65,357

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	75,650	75,122	73,807

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	22,272	22,684	20,965
その他			
計(F)	22,272	22,684	20,965

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	53,378	52,438	52,842

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	509,690	482,860	294,153
受益者負担額(千円)	22,272	22,684	20,965
受益者負担率(%)	29.4%	30.2%	28.4%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	105	109	180

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	開放施設数	単位	箇所
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	78	78	78
実績値	78	78	78

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	学校等体育施設利用者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	550,000	550,000	550,000
実績値	509,690	482,860	294,153
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	地域住民がスポーツを楽しみ、体力の向上や健康の増進に繋がることを目的とする現状利用率は高い。 岐阜市所管施設のため市で担う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	既存の学校施設を使用しているため、維持管理等に費用はあまりかからない。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	老若男女さまざまなスポーツに取り組みスポーツ振興につながっている。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	利用者には電気代相当分を負担しており学校体育施設開放の特性を考慮すると適正。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	多くの市民が利用しており、スポーツ振興及び地域貢献を実施しているため。

事業評価シート

番号 0660070 - 022

【1.基本情報】

事業名	岐阜市レクリエーション普及事業補助金				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	補助	補助の種類※	団体事業補助金	実施主体	岐阜市レクリエーション協会
実施期間	令和元 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市レクリエーション事業補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	2016年に開催した「第70回全国レクリエーション大会in岐阜」の成果を一過性のものとせず、各種団体と協力してレクリエーションの普及・拡大を図り、もって市民の健康づくりや生きがいづくりに寄与する。	
事業の内容	岐阜市レクリエーション協会が、岐阜市のスポーツ・レクリエーション団体、教育・福祉施設など、レクリエーションに携わる個人・団体を統括するネットワークの会として、各種目大会や教室を開催し、健康の保持増進のアドバイス、スポーツ・レクリエーション啓発を行う事業の一部を補助する。	
事業の対象	何を	事業補助金
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市レクリエーション協会
	どのくらい (具体的数値で)	1,000,000円
令和2年度 (実施内容)	事業補助金1,000,000円	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	0		340	10	325	10
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	0	0	340	10	325	10

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
			1,000	1,000
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	補助金		1,000	1,000
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	1,000	1,000

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	1,340	1,325

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	0	1,340	1,325

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者		参加者	参加者
受益者数		5,682	2,350
受益者負担額(千円)		920	380
受益者負担率(%)		68.7%	28.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)		236	564

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	レクリエーション教室・種目大会開催回数	単位	回
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		100	48
実績値		120	57

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値		13,000	9,000
実績値		30,357	5,724
達成状況		○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民の生きがいがづくり及び健康づくり等に寄与するレクリエーションの普及が図られている。 協会の自主財源のみで行う事業だけでなく、市の補助があることで、開催回数や広報等、更に充実させることができる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	協会独自で取り組んできたレクリエーション大会や教室に、本事業により新たな種目や団体が加わることで、より多くの市民がレクリエーションに参加することができる。 レクリエーションを幅広く普及させるためには、レクリエーション活動普及のノウハウがある市レクリエーション協会の事業費に補助する現方法が効率的と考える。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	本事業により2,350人の市民が参加し、レクリエーションの体験をすることができた。継続して広報、事業を実施することで、更なる参加者が見込まれる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	障がいの有無や世代を問わず、幅広い市民を対象に事業が行われているため、公平性は高い。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	レクリエーション教室等の開催種目数や開催回数の増加により、普段体を動かす機会の少ない市民等がスポーツ・レクリエーションに触れることができるなど、一定の効果が見られるため、現状維持とする。

事業評価シート

番号 0660070 - 023

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	昭和58 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外体育施設条例	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する				
事業の内容	島西運動場、則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場管理運営委託 柳津3施設管理運営				
事業の 対象	何を	屋外体育施設			
	誰に (対象者・対 象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	則松球場、島西運動場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場、柳津運動場、高桑運動広場、坂巻運動広場			
令和2年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・則松球場、フィールドかけぼら、諏訪山運動場、岐陽運動場を各地域に管理清掃業務委託 ・島西運動場 運営管理業務委託 ・各施設の不良箇所を修繕・工事 ・各施設の樹木管理 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,400	100	3,250	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		17,730	23,418	19,651
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	工事請負費	1,774	4,588	0
	委託料	13,478	13,092	14,551
	需用費	2,376	4,557	3,566
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		17,730	23,418	19,651

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	20,900	26,818	22,901

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	4,286	4,310	3,382
その他			
計(F)	4,286	4,310	3,382

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	平成元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	16,614	22,508	19,519

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	185,911	189,790	125,403
受益者負担額(千円)	4,286	4,310	3,382
受益者負担率(%)	20.5%	16.1%	14.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	89	119	156

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	施設数	単位	箇所
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10	10	10
実績値	10	10	10

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	200,000	200,000	200,000
実績値	185,911	189,790	125,403
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の健康志向や東京オリンピック等でスポーツに関心が高まっている。 管理については、地域が主体的に動いている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	運動場の照明をLEDに変更するなど導入費用はかかるが電気代等を考えると、導入によって得られる効果が極めて高い。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会や、個人など様々なニーズで利用がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている。

事業評価シート

番号 0660070 - 024

【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成27年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ交流センター条例 岐阜市スポーツ交流センター条例施行規則	

【2.事業概要】

事業の目的	スポーツにより市民の心身の健康を保持増進し、スポーツを通じた市民の交流を促進する	
事業の内容	岐阜市スポーツ交流センターの管理運営	
事業の対象	何を	屋内体育施設
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的数値で)	岐阜市スポーツ交流センター
令和2年度 (実施内容)	施設の管理運営	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0	0	0	0	0	0
嘱託職員	9,579	930	9,672	930	6,427	624
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	9,579	930	9,672	930	6,427	624

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		0	0	0
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	委託料	4,317	4,384	4,395
	工事請負費	0	20,562	0
		0	0	0
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		0	0	0

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	9,579	9,672	6,427

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
市債	0	0	0
使用料・手数料	3,152	1,167	283
その他	432	432	16
計(F)	3,584	1,599	299

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	5,995	8,073	6,128

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	420,000	420,000	420,000
受益者負担額(千円)	1,814	3,152	323
受益者負担率(%)	18.9%	32.6%	5.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	14	19	15

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	15,000	15,000	15,000
実績値	16,607	11,537	10,800

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	施設使用料	単位	円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,814,000	1,223,000	1,752,000
実績値	1,814,160	1,566,000	323,200
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。 平成27年度から直営施設として管理運営していきだが、令和4年度より指定管理者制度を導入することに決定。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	直営施設として管理運営するよりも、指定管理者制度を導入することで得られるスケールメリットや、他の体育館と連携した自主事業への取り組みなど、利用者サービスの向上が期待できることから、令和4年度より、指定管理者制度を導入する。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	他の体育館と連携することで、さらなる利用者の増加が見込めそうである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから現状維持が望ましいと判断する。 なお、令和4年度からは、指定管理者制度を導入し、他のスポーツ施設と一元管理することで得られるスケールメリットや、施設を連携した自主事業の取り組みなど、利用者増に期待する。

事業評価シート

番号 0660070 _ 025

【1.基本情報】

事業名	屋内体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいつくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(出資団体)	補助の種類※	実施主体	ぎふ南スポーツコミュニティ (公財)岐阜市教育文化振興事業団 (株)技研サービス	
実施期間	平成29年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市体育館条例、岐阜市プール条例	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する				
事業の内容	屋内体育施設の整備、管理及び工事他				
事業の 対象	何を	屋内体育施設			
	誰に (対象者・対 象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	体育館10館(平成28年度までもえぎの里多目的体育館のみ直営)、市民プール3箇所			
令和2年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> 市内体育館、プールを指定管理、もえぎの里トレーニングルーム管理業務委託 市内体育館、プールを工事・修繕、備品の補充 スポーツ教室・体育館デー(新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み中止) 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
嘱託職員	8,034	780	8,112	780	8,034	780
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	11,204	880	11,512	880	11,284	880

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		377,207	351,705	395,507
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	委託料	272,832	277,238	277,573
	工事請負費	104,375	74,467	117,934
		0	0	0
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度額(千円)
計(D)=B+C		377,207	351,705	395,507

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	388,411	363,217	406,791

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料	46,235	45,060	31,417
その他	24,322	24,017	0
計(F)	70,557	69,077	31,417

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	317,854	294,140	375,374

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	681,270	610,000	263,380
受益者負担額(千円)	46,235	45,060	31,417
受益者負担率(%)	11.9%	12.4%	7.7%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	467	482	1,425

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	700,000	700,000	700,000
実績値	681,270	610,000	263,380

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	稼働率	単位	%
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	90	90	90
実績値	88.25	84.40	65.40
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。 民間のノウハウを取り入れた運営の方が利用者のニーズに合っている。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最善であると判断している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	民間のスキルを取り入れた事業計画の提案があり将来的に効果が見込めそうである。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	運動、競技目的の人々が集まる場としての役割と、地域の人々が集まる場としての双方からの需要があることから、今後も継続していく。

事業評価シート

番号 0660070 - 026

【1.基本情報】

事業名	岐阜市公共施設予約システム事業				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成11年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市公共施設予約システム利用に関する規則	

【2.事業概要】

事業の目的	市民が主体的にスポーツ活動に取り組むためには、スポーツに関する様々な情報を容易に入手できる環境が整備されていることが望ましい。スポーツ施設の利用に関する情報の入手場所が限定されていたり、あるいは入手の手続きが煩雑であるといった問題を解決する必要がある。	
事業の内容	市内の有料スポーツ施設(屋内外)を、インターネットを利用し、パソコン・携帯電話・スマートフォンで利用申請できるシステムの運用。	
事業の対象	何を	スポーツ施設予約システム
	誰に (対象者・対象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	インターネット・携帯電話での申請を提供する。
令和2年度 (実施内容)	市内の有料スポーツ施設(体育館10箇所、野球場3箇所、テニスコート8箇所、サッカー・ラグビー場2箇所、多目的運動場6箇所、スポーツ交流センター)をインターネット利用し、パソコン・携帯電話・スマートフォンから予約可能とした。	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額(千円)		令和元年度決算額(千円)		令和2年度決算額(千円)	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	3,170	100	3,400	100	3,250	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		4,386	4,388	4,468
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	管理運用業務委託料	3,864	3,864	3,936
	事務処理委託	259	261	264
	事務機器借上料	263	263	278
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		4,386	4,388	4,468

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	7,556	7,788	7,718

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	7,556	7,788	7,718

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	333	327	374
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	22,691	23,817	20,636

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者カード登録累計数	単位	枚
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	10,500	11,000	11,500
実績値	10,369	10,696	11,070

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	施設利用者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	800,000	800,000	800,000
実績値	807,531	781,234	421,371
達成状況	○(達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民が自宅に居ながら自由な時間に積極的にスポーツ施設を予約する事ができる。 施設使用料が口座引き落としのため収入金額の管理が容易である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	市民が計画的に施設を活用する事ができる。 申請書を手取できる場所が限られているため利用者に不便をかけている。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	毎年、新たなシステム登録数は増えていないが施設利用者数は増えている事から何度も利用される方が増えていると思われる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	利用者カードを作成する費用は掛からないが、抽選予約のため休日は予約が取れないとの意見もいただく。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ施設を気軽に活用する方法として、一定の成果があり、今後も維持管理が必要。

事業評価シート

番号 0660070 - 027

【1.基本情報】

事業名	屋外体育施設管理				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(その他)	補助の種類※	実施主体	岐南町	
実施期間	昭和58 年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市屋外体育施設条例	

【2.事業概要】

事業の目的	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供する	
事業の内容	厚八運動場、厚八テニスコート指定管理	
事業の 対象	何を	屋外体育施設
	誰に (対象者・対 象者数)	市民
	どのくらい (具体的 数値で)	厚八運動場、厚八テニスコート
令和2年度 (実施内容)	厚八運動場、厚八テニスコートを岐南町へ指定管理 施設・設備の維持管理	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	3,170	100	3,400	100	3,250	100
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
計(A)	3,170	100	3,400	100	3,250	100

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
		2,218	2,239	2,259
直接事業費の主 な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	委託料	2,218	2,239	2,259
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)	令和2年度額(千円)
計(D)=B+C		2,218	2,239	2,259

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	5,388	5,639	5,509

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	5,388	5,639	5,509

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	27,182	23,863	16,829
受益者負担額(千円)	284	272	255
受益者負担率(%)	5.3%	4.8%	4.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	198	236	327

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	25,000	25,000	25,000
実績値	27,182	23,863	16,829

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	利用料収入	単位	円
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	300,000	300,000	300,000
実績値	283,850	271,920	255,165
達成状況	×(未達成)	×(未達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	生活習慣病の予防の観点からも、スポーツ施設の需要は高まっている。 敷地内は岐阜市と岐南町の土地が混在している。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	現時点では、指定管理による運営が最善であると判断している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	大会や、個人など様々なニーズで利用がある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	受益者には維持管理経費の一部を負担してもらうため適正。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	市民のスポーツ及びレクリエーション活動の場を提供できている。

事業評価シート

番号 0660070 _ 028

【1.基本情報】

事業名	岐阜市ゴールデンジュニアスポーツプラン				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	市民スポーツ課		
未来地図政策	生涯を通じたいきがいづくりの推進		政策コード	1 - 5 - 0 - 0	
実施方法	委託(民間)	補助の種類※	実施主体	岐阜市スポーツ協会	
実施期間	平成14年度～	年度	根拠法令 関連計画※	岐阜市スポーツ振興補助金交付要綱	

【2.事業概要】

事業の目的	市内小中学生を対象に、市内にある体育施設等を利用して、優れた指導者の下で競技人口の拡大と競技力の向上を目指す。また、「東京オリンピック・パラリンピック ターゲットエイジ事業」の一環としても本事業を位置付ける。				
事業の内容	ジュニアスポーツクラブは、卓球・バドミントン・ソフトテニス・陸上・柔道・体操・剣道・サッカーの8競技のクラブ活動及び、社会人野球チームによる中学生対象の野球教室を実施する。 アビリティアップクラブは、ホッケー・自転車・レスリング・相撲・ビームライフル・硬式テニスの6競技のクラブ活動を実施する。				
事業の対象	何を	小中学生が参加するスポーツクラブを開催する。			
	誰に (対象者・対象者数)	受講を希望する市内小中学生(募集学年は競技によって異なる)			
	どのくらい (具体的 数値で)	ジュニアスポーツクラブは年間15回(野球のみ5回) アビリティアップクラブは年間35回			
令和2年度 (実施内容)	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、ジュニアスポーツクラブの全競技及びアビリティアップクラブの一部種目(レスリング、すもう)を中止とした。 10月から3月にかけてアビリティアップクラブの4競技(ホッケー、自転車、ビームライフル、硬式テニス)実施し、計41名が受講した。				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成30年度決算額		令和元年度決算額		令和2年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正職員	2,219	70	2,380	70	2,275	70
パートタイム(嘱託職員)	0		0		0	
パートタイム(アルバイト)	0		0		0	
計(A)	2,219	70	2,380	70	2,275	70

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
項目	謝金	4,535	4,565	395
	備品	816	437	221
減価償却費【施設管理】※(C)		平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
計(D)=B+C		6,001	5,787	731

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	8,220	8,167	3,006

【4.収入】

収入内訳	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他	891	858	0
計(F)	891	858	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)	令和2年度決算額(千円)
	7,329	7,309	3,006

【6.コストバランス】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業受益者	各競技受講者	各競技受講者	各競技受講者
受益者数	1,101	1,268	41
受益者負担額(千円)	891	858	0
受益者負担率(%)	10.8%	10.5%	0.0%
受益者1人当たりのコスト(円、一般財源ベース)	6,657	5,764	73,317

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	対象競技数	単位	競技
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	15	15	15
実績値	15	15	4

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	参加者数	単位	人
	平成30年度	令和元年度	令和2年度
目標値	1,000	1,000	1,000
実績値	1,101	1,268	41
達成状況	○(達成)	○(達成)	×(未達成)

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部競技のみで開催したが、例年、定員を大幅に超える申込があるほどニーズが高く、広くスポーツの振興、普及に寄与している。 市内の全小中学生にチラシを配布しているため、岐阜市に縁のある者が行うべきと考えられ、岐阜市が取り組むのが妥当である。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	アビリティアップクラブは無料、ジュニアスポーツクラブは1,000円と市内小中学生の誰もが参加できる教室となっている。 指導者は学校での指導を行っている教員や競技協会の推薦など、地元の指導者が多く、外部の事業者へ委託することに比べ、費用が抑えられるため、民間事業者へ委託することは費用が過大となる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	高	この事業をきっかけに、現在、トップレベル(東京オリンピック代表選手、世界選手権、ジュニアワールドカップ等)で活躍する選手がいる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	現状アビリティアップクラブは無料、ジュニアスポーツクラブは15回で1,000円であるが、参加者の能力向上を目的としている事業のため、受益者負担と公費とのバランスが、公平性の観点から公費の負担が過大との指摘もあるため、今後金額を検討していく必要がある。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	各種目競技者の裾野の拡大及び競技力の向上に役立っているため。